



湯田ダムは11/5に竣工60周年を迎えました

発行：北上川ダム統管理事務所
湯田ダム管理支所
和賀郡西和賀町杉名畑44-162-15



ダム見学

11月11日に、西和賀高校普通科1年生45名が湯田ダム見学をされました。
明るくはつらつとしていて、こちらも元気をもらいました。

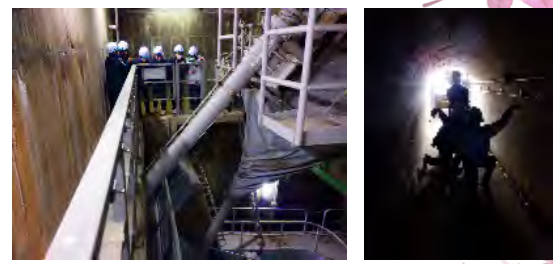
11月12日に、スカーフクラブあおりサロンの16名様が湯田ダム見学をされました。階段コースで歩き、左岸展望台から放流を見ていただきました。



60周年記念写真展

湯田ダムは昭和39年11月5日に竣工し、60周年を迎えました。

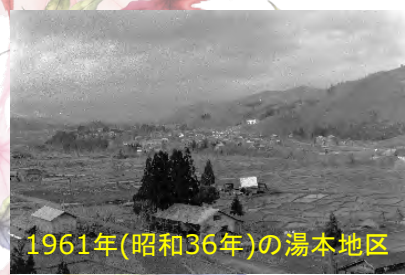
これを記念して10月29日～12月1日まで、湯夢プラザにて写真展を開催しました。建設前から竣工まで2万枚の写真の中から、一部を紹介いたします。



朝霧

この時期の天气がよく、無風の早朝に見ることができる朝霧。

今年の初雪は11/18でした。



1961年(昭和36年)の湯本地区

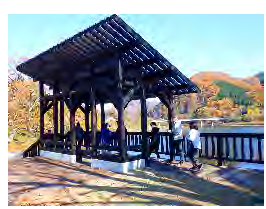


2024年(令和6年)の湯本地区

ビューポイント調査

11月11日に、錦秋湖の景観づくりを進めていくため、関係機関が合同で調査しました。

上野々地区に、西和賀町がかままちづくり事業で整備中の公園に東屋が完成していました。



60周年記念カード

湯田ダム管理支所では、11月5日から竣工60周年記念カードを配布中です。無くなり次第、配布終了となります。(連携店舗でお得なサービスが受けられるのは12/27まで)



西和賀町の情報盛りだくさん!



貯水池 遺構見学会

11月9日に、貯水池遺構見学会を開催しました。
10年に一度の取水口工事（岩手県企業局）により、貯水位が例年よりも低下するため、ダム建設に伴い水没した地区の遺構が姿を現しています。



旧スノーシェッド内に潜入
国鉄横黒線（現北上線）



遺構にタッチ



親水スポーツ公園から見えますが、足下が非常に悪いため、十分注意して見学してください。

古生代の地質探索

湯田ダムの下流に古生代の地層を訪ねました。

国道107号の和賀仙人スノーシェッドから和賀川へ降ります。

途中、和賀仙人鉱山に関する産業遺産もあります。

この一帯の鉱床群は、古生代ペルム紀の石灰岩に中生代白亜紀の花崗岩類が貫入してできたスカルン鉱床ということで石灰岩や大理石の地層が露出していると思われます。

和賀川対岸に金肌鉱床の露天掘り跡付近に、川底から島状の大岩が見えます。

お目当ての石灰岩らしいのですが、増水のため近づけませんでした。



坑口



索道のバケット



吊り橋のアンカー



ものしり館
12月初旬に
冬季閉館の
予定です。

遺構見学会の様子をテレビ岩手さんに取材いただきました。
日テレNEWSのYouTubeでご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=wzt1q8bNW6s>

ダムの維持管理

湯田ダムでは、ドローンにより堤体の3次元データを取得し、写真撮影を行いダムのクラックマップ（ひび割れ等を整理した図）の作成を行います。

ダムの長期的な安全性の確保に努めていきます。



ペルム紀の地層



ペルム紀の石灰岩

